



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第21号(2008年7月28日)



中東に進出する日本企業

ドバイの街中を車で走ると、右を見ても左を見てもほとんどが建設工事現場になっています。つまり街全体が、建設ラッシュに沸いているということなのですが、工事現場をよく見ると見慣れた企業のロゴが散見されます。そう、日本企業のロゴなのです。

前号でも海水を真水にする淡水化技術をご紹介しましたが、今中東には高度な技術を武器に日本企業が相次いで進出しているのです。特に目に付くのがやはり建設業や重工業です。

下の写真は、UAEの鉄道プロジェクトである“ドバイ・メトロ”の建設現場で、日本の建設業や重工業がプロジェクトメンバーとして参加しているのです。

(グッド・バイ)

車の中から撮影した建設現場



建設プロジェクトに関わる日本企業



写真: UAE出張にて撮影 by グッド・バイ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



ラクダの話ーその1

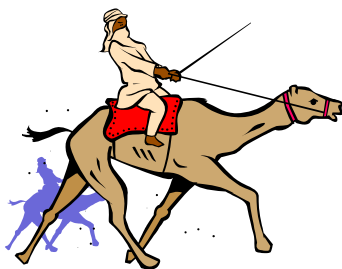
当「らくだより」のタイトルと挿絵にもなっている、中東のラクダについてお話したいと思います。既にお気づきのとおり、ラクダはまず、「ひとこぶ」と「ふたこぶ」の種類に分けられます。中東の国々にはこのひとこぶラクダが家畜として多く飼われ、食用やらくだ乳などに役立ており、また、別名「砂漠の舟」とも呼ばれ、荷を積んで運んだり、砂漠の厳しい長旅にも耐えられる交通手段でもあったわけです。このように、遠くアラビアンナイトの時代はもとより、ラクダは、多くの中東の国々に住む人々とは切り離せない重要な存在となっていました。ちなみに、ふたこぶラクダはモンゴルなどの中央アジアにみられます。

体長は2m前後、体重はおよそ450kgから600kg超に至るまで、人間と比べるとかなりの重量の持ち主です。暑い地域に適応するように、体毛は短く白や褐色、黒い色をしています。そのこぶの中には脂肪が蓄えられており、栄養としての役割と同時に、砂漠での高温の直射日光の熱から体を守る働きをしています。

そして、実はこのラクダ属は非常に賢い動物で、砂漠の中で迷子になったりしてもしっかり帰る方向をわかっています。また本来、大人しい性格の持ち主のラクダが凶暴になることはめったにないのですが、そのサッカー選手にも勝るキック力は、受けた者は致命傷にもなり兼ねない強烈なものだそうです。とあるアラビア人の話によると、ラクダがもしある人間から、手荒い扱い・仕打ちを受けた場合は、終生、その報復を終えるまでしっかりそのことを覚えており、そのキック力で、主人ですらノックアウトに至らしめるとか、笑えない本当の話があるようです。

どこかの法典で聞いたことのあるような話ですね。「目には目を歯には歯を」なんて。しかし、一方、互いを思いやる関係を築けば、賢いラクダは、オイルはここ掘れと教えてくれるかもしれません。

(老いる招き猫)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



スクークは人気者

世界の株式市場は大荒れの状況が続いていますが、そんな中、また湾岸諸国の経済の堅調ぶりを表すデータが発表されました。

国際法律事務所のTowers & Hamblinsの調査によると、湾岸諸国におけるスクーク(イスラム社債)の発行額が昨年17%増加し170億ドルに達したそうです。ちなみに、2002年3月における発行額は9.6億ドルでしたので、5年強の間に20倍近くに拡大した計算になります。このらくだよりでも、何度も湾岸諸国の大規模プロジェクトについて書かせていただいておりますが、前代未聞と言える程の旺盛な資金需要のある湾岸諸国に対して、お金を貸したい投資家が世界中にたくさんいるということの表れでしょうか。

今年に入ってから、米国を起因とした信用収縮の影響もあり、CDO(資産担保証券)やCMBS(商業不動産担保証券)などの仕組み債の組成が激減しているといった話を聞く一方で、UAEをはじめ湾岸諸国のスクークの発行は堅調なようです。質への逃避ならぬ、原油・産油国への逃避の様相を呈してきた、と言ってしまうと拡大解釈になってしまうのでしょうか？何にしても、引き続き目が離せない地域、投資対象に変わりありません。

(ほぼ現地人)

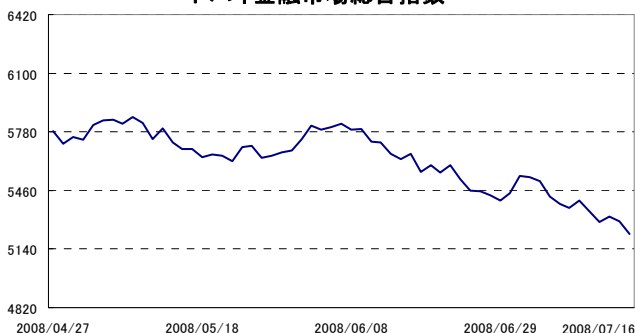


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

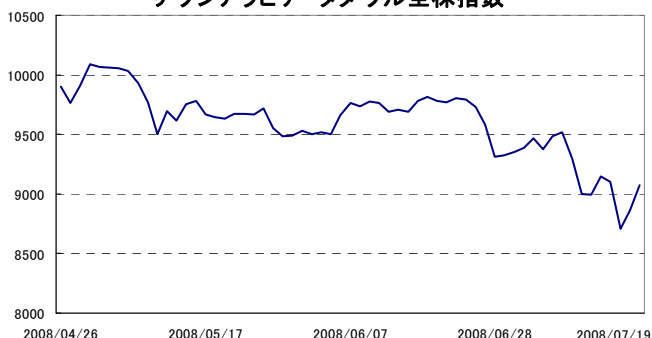


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近3ヶ月)

ドバイ金融市場総合指数



サウジアラビア タダウル全株指数

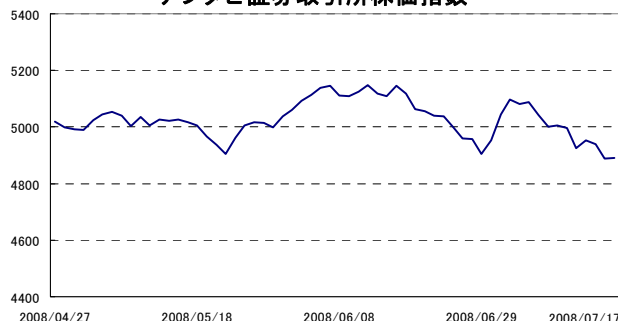


クウェート証券取引所指数



出所:ブルームバーグ

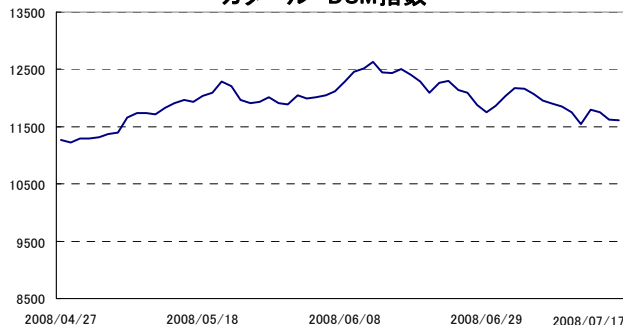
アブダビ証券取引所株価指数



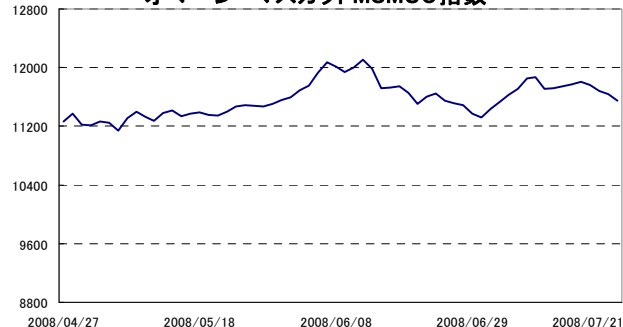
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。